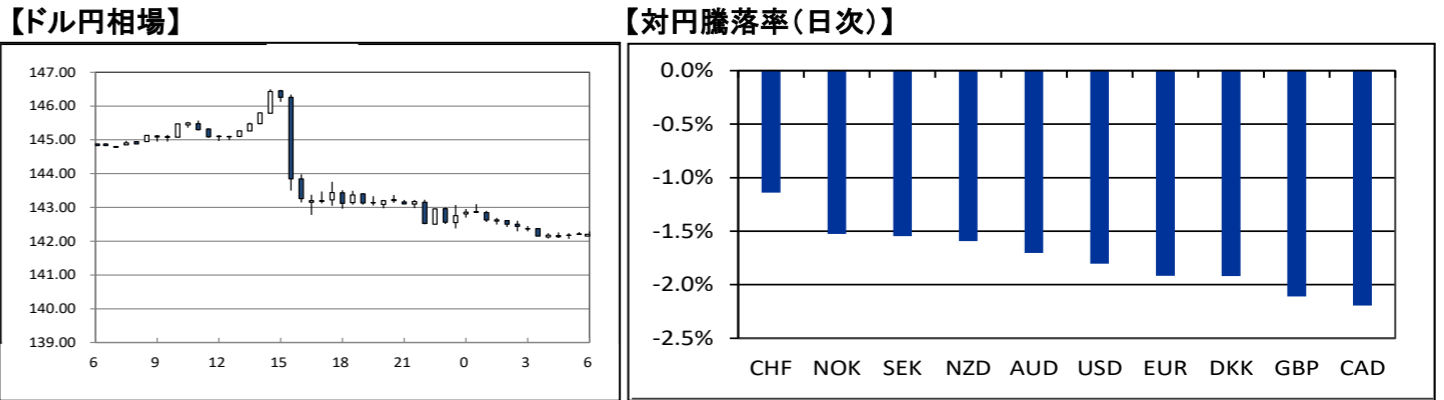


	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	145.53
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	145.10	1.1177	162.20	1.3411	0.6892
SYD-NY High	146.49	1.1203	163.46	1.3428	0.6937
SYD-NY Low	142.07	1.1125	158.65	1.3360	0.6869
NY 5:00 PM	142.21	1.1166	158.77	1.3372	0.6902
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,313.00	137.89	日本2年債	0.3200%	▲0.0200%
NASDAQ	18,119.59	▲ 70.70	日本10年債	0.8100%	▲0.0200%
S&P	5,738.17	▲ 7.20	米国2年債	3.5562%	▲0.0684%
日経平均	39,829.56	903.93	米国5年債	3.5026%	▲0.0619%
TOPIX	2,740.94	19.82	米国10年債	3.7497%	▲0.0457%
シカゴ日経先物	37,615.00	▲ 1,795.00	独10年債	2.1385%	▲0.0320%
ロンドンFT	8,320.76	35.85	英10年債	3.9765%	▲0.0320%
DAX	19,473.63	235.27	豪10年債	3.9720%	0.0190%
ハンセン指数	20,632.30	707.72	USDJPY 1M Vol	11.55%	▲0.46%
上海総合	3,087.53	86.58	USDJPY 3M Vol	11.68%	▲0.07%
NY金	2,668.10	▲ 26.80	USDJPY 6M Vol	10.78%	0.01%
WTI	68.18	0.51	USDJPY 1M 25RR	▲1.21%	Yen Call Over
CRB指数	285.94	1.31	EURJPY 3M Vol	10.53%	▲0.03%
ドルインデックス	100.38	▲ 0.14	EURJPY 6M Vol	10.05%	0.07%

東京	東京時間のドル円は145.10レベルでオープン。自民党総裁選の投開票が行われ、追加利上げを牽制する発言をしていた高市氏優勢の流れに、ドル円は一時146.49まで上昇。ただその後石破氏の当選が決まると143円台半ばまで急落し、143.85レベルで欧州に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.85レベルでオープン。石破氏当選によるポジション巻き戻しの流れが続き、クロス円の下落を伴って142.78まで売られる。その後大きく反発することなく、徐々に値動きが落ち着き、結局143.10レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1173レベルでオープン。仏西8月CPIがともに市場予想を下回り、ECBによる10月利下げ観測が加速し、1.1125まで売られる。その後、午後に控える米経済指標の結果を意識してか反発し、結局、1.1164レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台後半でスタート。東京時間では、一時146.49まで上昇するも、その後自民党総裁選の決選投票で石破氏が勝利したとの速報が伝わると、瞬時に円買いが優勢となり、142.78まで急落。その後は小幅回復し、143.10レベルでNYオープン。朝方に発表された米8月個人支出(前月比)や、米8月コアPCE価格指数(前月比)が共に予想を下回った事を受け、市場はドル売りで反応し、142.50付近まで下落。続いて発表された米9月ミシガン大学消費者マインド指数(確報値)が予想を上回ると、一時143円ちょうど付近まで買い戻されるも、長続きはせず再度142円台半ばまで反落。午後は米金利が低水準で推移する展開が重しとなり、終盤にかけては142.07まで続落し、142.21レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.11台後半でスタート。独金利の低下や、独9月失業者数が予想より悪化した事が重しとなり、1.1125まで下落。その後は小幅反発し、1.1164レベルでNYオープン。午前中は先述の米8月コアPCE価格指数の結果を受けたドル売り地合いがサポートとなり、1.1203まで上昇。しかし、その後に発表された米9月ミシガン大学消費者マインド指数(確報値)が予想を上回ると、ドルが買い戻され、1.1147まで反落。午後は1.1160付近を挟んだ方向乏しい推移が続き、1.1156レベルでクロス。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event	結果	予想		
9月27日	08:30	日	東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	9月	2.2%/2.0%/1.6%	2.2%/2.0%/1.6%
	15:45	仏	CPI(前月比/前年比)・速報	9月	-1.2%/1.2%	-0.7%/1.6%
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	8月	0.2%	0.2%
	21:30	米	コアPCE価格指数(前月比/前年比)	8月	0.1%/2.7%	0.2%/2.7%
	21:30	米	個人所得(前年比)	8月	0.2%	0.4%
	21:30	米	個人支出(前月比)	8月	0.4%	0.4%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	9月	70.1	69.4
【本日の予定】						
Date	Time	Event	予想	前回		
9月30日	10:30	中	製造業PMI	9月	49.4	49.1
	10:30	中	非製造業PMI	9月	50.4	50.3
	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	9月	50.5	50.4
	10:45	中	Caixin中国サービス業PMI	9月	51.6	51.6
	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	9月	0.1%/1.7%	-0.1%/1.9%
10月1日	02:55	米	パウエル議長 講演		-	



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.25-144.00	1.1125-1.1200	159.00-161.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円は、自民党総裁選により乱高下の展開。東京時間朝方の日銀による追加利上げをけん制する高市氏が優勢との報道に始まり、一回目の投開票で高市氏がリードして決選投票に駒を進めたことからドル円は一方的に買われ、146.49まで上昇。しかし決選投票で石破氏が高市氏を破ると、高市氏期待からの巻き戻しでドル円は急激に下落し、143円台前半に突入。その後の海外時間でも上値重く推移し、142円台前半で週末を迎えた。

本日のドル円は堅調な展開を予想。金曜日は「高市氏ではなかった」というショックから急激に円高方向に振れたものの、石破新総裁が過度にタカ的な姿勢を取るとは考えづらく、下落傾向は継続しないだろう。加えて、本日は月末五・十日であり、実需フローにより売り買い交錯しやすいものの、金曜日の下落を受けてドル買いが入りやすいと思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。